

リグロスWEBセミナー

歯科医師×歯科衛生士が語る 再生療法のストラテジー

LIVE
視聴配信



リグロス®は2020年12月で発売から4年を迎えます。今回は石川歯科(静岡県浜松市)より、院長 石川知弘先生、歯科衛生士 酒井美佳先生のお二人をお招きしてLIVE配信(生放送)のWEBセミナーを開催いたします。歯周治療における基本的な話に留まらず、日常の臨床で活かせる一歩踏み込んだ内容もお届けいたします。お見逃しなく!

- 日常の臨床に活かせるポイントを紹介!
- セミナーLIVE中のQ&A! 質問受付!

プログラム

『再生療法を成功に導くために 歯科衛生士がすべきこと』

演者：石川歯科(静岡県)
歯科衛生士 酒井 美佳 先生



酒井 美佳 先生

『リグロス®を応用した再生療法成功の鍵』

座長兼演者：石川歯科(静岡県)
院長 石川 知弘 先生



石川 知弘 先生

LIVE配信日程

日程

2020/12/18(金) 19:30~20:45



参加費

無料 (Doctorbook会員限定)

<https://academy.doctorbook.jp>

受講方法

裏面をご覧ください

ドクターブックアカデミー

検索



セミナー視聴に際しての手順とお願い

会員登録いただかないと、今回のリグロスWEBセミナーにはご参加いただけませんのでご了承ください。



Doctorbook academy (ドクターブックアカデミー)

右のQRコードを読み取るか、検索サイトで「ドクターブックアカデミー」と検索していただきサイトへのご登録をお願いいたします。



セミナーお申込方法

ドクターブックアカデミーのサイトにて申込をお願いいたします。

会員サイト内検索

TOPページ > 動画で学ぶ > キーワード「リグロス」

視聴方法

セミナーにお申込いただいた際にご登録いただいたEメールアドレスへセミナーの2日前までに視聴用のURLをお知らせいたします。事前にドクターブックアカデミーの他の動画を再生いただき、正常に再生されるかご確認ください。

もし再生に問題がある場合は下記の連絡先まで問い合わせをお願いいたします。

講師への質問

ライブセミナー中は視聴用ページ下部のフォームより講師への質問が可能です。ぜひご活用ください。

お支払い方法

今回のセミナーは無料参加となりますので、決済・振込は不要です。



Doctorbook academy

セミナーに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

info@doctorbook.jp セミナー担当

リグロス®のご購入・ご使用を希望される先生方へ 「リグロスe-learning」の受講はこちら



<http://regroth.jp>



【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 口腔内に悪性腫瘍のある患者又はその既往歴のある患者
[本剤が細胞増殖促進作用を有するため]

【効能・効果】 歯周炎による歯槽骨の欠損

〈効能・効果に関連する使用上の注意〉

1. 本剤は、歯周ポケットの深さが4mm以上、骨欠損の深さが3mm以上の垂直性骨欠損がある場合に使用すること。
2. 本剤は、インプラント治療に関する有効性及び安全性は確立していない。

【用法・用量】 歯肉剥離掻爬手術時に歯槽骨欠損部を満たす量を塗布する。

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

本剤の使用にあたっては【臨床成績】の項を参照し適切な量を用いること。

【承認条件】 医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。

【使用上の注意】<抜粋>

1. 重要な基本的注意

- (1)本剤は歯周外科手術の経験のある歯科医師又は医師が使用すること。
- (2)術後に歯肉弁の著しい陥凹を生じると予想される骨欠損部位に対しては、他の適切な治療法を考慮すること。

2. 副作用

本剤が投与された安全性評価対象症例429例中3例(0.7%)に副作用が認められた。その内訳は、適用部位における歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹および頭痛が各1例(0.2%)であった。臨床検査値異常は429例中51例(11.9%)に認められ、その主なものは尿中アルブミン陽性27例(6.3%)、尿中β₂ミクログロブリン上昇17例(4.0%)、尿中NAG上昇16例(3.7%)、CRP上昇6例(1.4%)等であった。(承認時)

分類	頻度	1%以上	1%未満
適用部位			歯肉白色化、歯肉紅斑、歯肉腫脹
精神神経系			頭痛
臨床検査		尿中アルブミン陽性、尿中β ₂ ミクログロブリン上昇、尿中NAG上昇、CRP上昇	AST(GOT)上昇、ビリルビン上昇、CK(CPK)上昇、ALT(GPT)上昇、LDH上昇、尿糖陽性、リンパ球増多、好中球減少、単球増多、白血球減少、総蛋白上昇

●その他の使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

2017年12月改訂(第4版)

製造販売元
(資料請求先)



科研製薬株式会社
東京都文京区本駒込2丁目28-8
医薬品情報サービス室